

第12回
500m
美術館賞

入選展

「朝倉毅・岡碧幸・高橋直宏・舘田美玖・堀江理人・山田大揮」
大崎晴地×AnoCo(赤川由加) 倉富一達広 高橋侑子

2025年1月25日(土) - 3月26日(水)



第12回500m美術館賞入選展

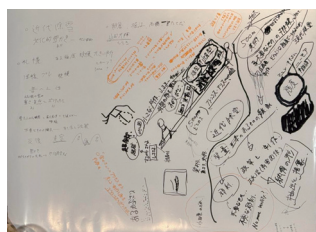
札幌大通地下ギャラリー 500m美術館(札幌市中央区大通西1丁目～東2丁目(札幌地下鉄大通駅～バスセンター前駅間 地下コンコース内))

500m美術館では現代アートの作品プランおよび企画プランのコンペティション「500m美術館賞」を毎年開催しています。

第12回500m美術館賞は、4組のアーティスト「朝倉毅・岡碧幸・高橋直宏・館田美玖・堀江理人・山田大揮」、「大崎晴地+KanoCo(赤川由加)」、「倉富二達広」、「高橋侑子」が入選し1月25日から展示を開催します。展覧会初日には審査員が実際の展示をみて最終審査を行い、その中から1組をグランプリに選出し授賞式とトークを行います。

「朝倉毅・岡碧幸・高橋直宏・館田美玖・堀江理人・山田大揮」
Tsuvooshi Asakura, Miyuki Oka, Naohiro Takahashi, Mikko Tateda, Michio Horie, Hiroki Yamada

札幌市出身の朝倉毅、堀江理人、岩見沢市出身の高橋直宏の3名が「文化的雪かき」というテーマから問題意識を共有し、石川県金沢市で端を発した展示企画。その後、札幌市出身の岡碧幸、青森県出身の館田美玖、旭川市生まれの山田大揮と「雪」や「雪かき」への視点や認識についての議論を重ね、降雪地帯出身者の立場から作品制作、展示を行う。今回の展示では「アートより除雪」という言葉にあるような「生活に必須でない／ある」という対立構造以外の関係について考え実践するためのものである。また「雪」を「降りかかり、積もっていく具体的な出来事や目に見えない抽象的困難」、「雪かき」を「それらに飲み込まれないための抵抗と方策」として再解釈することで、「アートより除雪」という二項対立は虚構であることを明らかにし、あらゆる「雪かき」を肯定する。



「ゆきどけり」企画構想時のドローイング 2024年
紙、ペン/728×515mm

倉富二達広
Taz Kurafuji

1987年東京生まれ。武蔵野美術大学油絵学科を卒業後、シンガポールに拠点を移し、インドネシアなど東南アジアで絵画・映像・インスタレーションを発表するアーティスト。2012年から現在まで、世界的消費財メーカーのP&Gでアリエール・ファブリーズ・SK-IIなどのブランドを手掛けるマーケティングディレクターとしても勤務。アートとビジネスの間を行き来しながら、異なる価値感や過去と未来の視点の衝突をインスピレーションとして精力的な制作活動をしている。



「六甲の年輪を泳ぐ虎」2024年
(神戸六甲ミーツ・アート2024 beyond 出展作品)
ステンレスミラー(8000×4628mm)、
制作協力:岩元航大、廣門晴人、KT&FS、トルク、
なかの工芸株式会社、浅井楓人



「Chaos & Cosmos (混沌と調和)」2022年
映像作品(1分56秒)

第12回500m美術館賞

●ゲスト審査員

飯田志保子(キュレーター、国際芸術祭「あいち2025」学芸統括)

●審査員

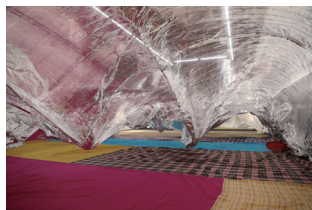
三橋純予(北海道教育大学岩見沢校美術文化専攻教授)、吉崎元章(本郷新記念札幌彫刻美術館館長)

入選作家

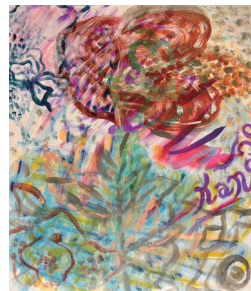
大崎晴地 + KanoCo(赤川由加)
Haruchi Osaki+KanoCo (Yuka Akagawa)

大崎晴地

1981年東京生まれ。2014年東京芸術大学大学院美術研究科博士課程修了。心と身体、発達のリハビリテーション、精神病理学の領域にかかわりながら、作品制作・研究活動を行っている。2023年アジア・カルチュラル・カウンシルのグラントとして渡米。編著に「障害の家と自由な身体」(晶文社)。主な展示に「HYPER-CONCRETENESS— フィクションと生活」(京島長屋、2018)、「新しいループ・ゴールドバーグ・マシーン」(KAYOKOYUKI、駒込倉庫、2016)など。KanoCo(赤川由加)
「2015年にALSという病気になりました。それから口で筆を加え、色々な花の絵や動物の絵、詩を書くようになりました。体はいつときかないけど、まだまだやりたい事は無限にあり、無限に叶えられます! KanoCo」
「私にかかった魔法」(「難病と在宅ケア」日本プランニングセンター、2019)、「絵を好きになったきっかけ」(「支援」vol.13、生活書院、2023)など。NCC長崎文化放送でドキュメンタリー「ALSを生きる」が放映。



大崎晴地「エアブランケット」2019年
エマーゼンシーシート、布、ウレタン、石、サーキュレーター



KanoCo(赤川由加)「好きなものを探せ」2024年
アクリル、紙

高橋侑子
Yuriko Takahashi

1998年北海道生まれ。2023年東北芸術工科大学美術科卒業、現在同大学大学院絵画研究領域在学中。身近なもの、出かけた場所をモチーフに絵画作品を制作している。主な展覧会として、「DOUBLE ANNUAL 2023 反応微熱 -これからを生きるちから-」(国立新美術館/2023年)、「ニュー・ドライブ・マウンテン」(最上川美術館・真下慶治記念館/2023年)などがある。2023年 東北芸術工科大学卒業制作洋画コース最優秀賞、Idemitsu Art Award 2023 グランプリ。第33期佐藤国際文化育英財団奨学生。2023年度日本文化芸術財団奨学生。現在山形を拠点にドローイングを基にした絵画制作について研究・発表している。



「授賞式」2024年
油彩、キャンバス、910×910mm



「会話」2024年
油彩、キャンバス、2273×2273mm

2025年1月25日(土) - 3月26日(水)

ご来場いただいた方を対象にWEBアンケートを実施しております。今後のより良い企画運営のため、ご協力をお願いいたします。

●回答方法 / スマートフォンやパソコンを使って下記URL又は二次元コードからアクセスしご回答ください。



札幌市公式HP ホーム > 教育・文化・スポーツ > 文化・芸術 > 札幌市所管の文化施設について(指定管理者制度など) > 札幌大通地下ギャラリー「500m美術館」

https://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/500mbijutukan/2024_questionnaire500m.html

第12回500m美術館賞グランプリ授賞式+トーク
トークテーマ「500m美術館賞について」

登壇者: 飯田志保子、三橋純予、吉崎元章

司会: 端 聡(美術家、CAI現代芸術研究所/CAIO3 アートディレクター)

日時: 2025年1月25日(土) 16:30~18:00

会場: 札幌市図書・情報館 1階(入場無料・当日先着順)

住所: 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ